

フィールドパートナー 自己紹介カード

「フィールドパートナー」とは フィールドワークパートナーの略称。

水俣・芦北地域のフィールドで、史実に基づいて解説し、来訪者とともに考察します。

社会課題を自由に考えることを妨げない案内を心がけています。 since2011

名 前/ ^{すぎもと たかし} 杉本 崇

所 属/ 海 岳（みたけ）

出 身/ 熊本県水俣市

特 技/ 自然体験、インストラクター



なぜフィールドパートナーをされているのでしょうか

自然を壊し、人の命を奪い、人間関係も壊してしまった水俣病と同じようなことが二度と起こってほしくないからです。一人でも多くの人に水俣を伝え、事実を知り、水俣を好きになってほしいから案内をしています。

あなたにとって、水俣の魅力はなんですか

辛いことがあっても前を向いていこうとする人、様々な個性を持つ人の魅力。どこにも負けない水俣ならではの自然の美しさがある（あった）のが魅力です。

子どもたちや若者たちに何を伝えたいと思って案内していますか

人は自然の一部であり、自然を壊すことは人を壊すことにもなります。自然を愛し、自然と関わる楽しさ、美しさに気づいてもらいたい。自然は、はかないもので人の活動によって簡単に壊れてしまうものです。自然の大切さ、人の命と尊厳について考えてもらいたいと思っています。今あるもの、自分たちの行動が、必要なものなのか。自分の行動や便利なものを追求することが本当に豊かさにつながっているのかを一緒に考えてほしいと願い案内しています。

若い人たちは、水俣から何を学んでほしいと思いますか

壊れてしまったものは人であろうが自然であろうが、簡単に元に戻らないことを水俣の歴史が表しています。人間は自分たちの都合で決まりをつくり、実は多くの人間が、そのことに翻弄されている事実があります。多くの人間が、自然を支配し、コントロールしていると勘違いしているのです。そのおごりが、人の命を奪うことにつながっています。本当の豊かさとは何なのか、自分なりに考え、学んでほしいと思います。水俣で起きたことが、水俣だけの事ととらえるのではなく、自分事としてとらえてほしいと願っています。